

# シングルス

2005(平成17)年7月18日鑑賞(ホクテンザ1)

★★★★



監督＝クォン・チリン／原作＝鎌田敏夫『29歳のクリスマス』／出演＝チャン・ジニョン／オム・ジョンファ／イ・ボムス／キム・ジュヒョク（エスピーオー配給／2003年韓国映画／112分）

……山口智子主演のテレビドラマ『29歳のクリスマス』の韓国版とのことだが、それを観ていなくても、スクリーン上に展開される3人の主人公たちを軸とする青春群像はすごく新鮮で面白いもの。30歳は女の1つの転換期……？ 仕事に恋愛にそして結婚に妊娠に、30歳を迎えようとする女たちの悩みは多いもの。しかし、それと同時に男だって……？ 幸せな結婚を前にしながらある重大な選択をした、「アメリ」髪型の八頭身美人の主人公に拍手を送るとともに、その10年後の姿に注目したいものだ！



## 『29歳のクリスマス』の韓国版だが……？

この映画は1994年に山口智子、松下由樹、柳葉敏郎の主演で放送されたテレビドラマ『29歳のクリスマス』の韓国版とのことだが、残念ながら私はそのテレビドラマを観ていないし、原作も全然知らない。たしかにそう言われてこの映画を観ていると、これらの日本の俳優たちとこの映画の登場人物たちと少しはイメージがダブってくる。

しかし、私が思うに、この韓国版の方が各登場人物のキャラや表現の仕方はキツイのでは……？

なぜなら1994年の日本といえば、バブルの頂点を過ぎてはいたものの、まだ豊かな時代。したがって、同じ29歳から30歳になろうというビミョーな年齢で、仕事や恋に悩む3人の仲間たちであっても、2003年につくられたこの韓国版の方がすべての面において競争がキジしいのでは……？

## 主人公は『アメリ』髪型の八頭身美人！

この映画の冒頭は、目覚まし時計で起こされる29歳の主人公ナ・ナン（チャン・ジニョン）の朝の風景から……。彼女は某社に勤めるデザイナーだが、何と最近は何形脱毛症に悩まされている。そんな彼女は、今日も頑張っって会社へ行ったものの、何とも最悪の日に……。それは、仕事でもイヤな課長からヘマをやったこと責任を押しつけられたうえ、外食部門へ突然の人事異動命令が……。これではデザイナーとしての向上は期待できず、レストランのウェイトレスと同じようなもの……？

そのうえ、今晩は元気を出して恋人用のワインを用意して、ホテルで一緒にと思っていたのに、恋人からは「もうムリするのはやめよう」と言われたうえ、あっさり「別れよう」と……。

こんな最悪の1日を過ごした主人公は、あのフランス映画『アメリ』の主人公の髪型をした八頭身の美人で、クリクリと動く大きな目やよくしゃべる口元は魅力いっぱい。「恋人」がなぜこんないい女を振ってしまったのか、私にはどうも理解できないが……？

## 3人は同級生……？

ナンの親友はイ・ドンミ（オム・ジョンファ）。彼女も仕事に自信をもったキャリアウーマンだったが、いいところ取りをするセクハラ上司の姿を見て、突然爆発！ タンカを切っって会社を辞めてしまったのはいいが、さてその後の生活は……？ ナンとドンミはいつも連絡を取り合っっている大の親友だが、そんなドンミと同居（？）しているのが、これも2人と共通の親友の男性ジョンジュン（イ・ボムス）。この3人の結びつきの詳しいことはわからないが、同級生風であることはたしか……。しかしいくら仲が良くても、男と女が1つの部屋をシェアして住むというのは現実問題としては、どうも……？

もっとも、ナンが1人住む部屋も日本的なワンルームマンションではないし、ドンミとジョンジュンが「同居」している部屋も結構広そうだから、何とかなるのかも……？

## ナンには新しい彼氏が……？

デザイナーの仕事からはずされるわ、新たに配属されたレストランでは失敗ばかり続くわで、ナンの人生は最悪！「これでは30歳までにストレスで死んでしまうワ！」とこぼしていたが……。 「人生、苦あれば楽あり」「捨てる神あれば拾う神あり」「人生はあざなえる縄のごとし」と言われるように、新たな希望の星が……。それは、新たに登場した男性のスホン（キム・ジュヒョク）。彼はナンが勤める会社と同じビルに入居している証券マンだが、エレベーターでナンと一緒にになった時に、どうやら一目ボレ……。さて、この新しい恋は順調に育つのだろうか……？

## ドンミはかなりの発展家……？

ドンミとジョンジュンが部屋をシェアするようになった理由はよくわからないが、経済的な理由が主たるものであることは容易に想像がつく。そしてこういう場合、概して厚かましいのは女の方と相場が決まっている……。現実もその予想どおりで、奔放なセックスライフを楽しむドンミは、ジョンジュンのことなどお構いなく、次々と男を部屋に連れ込んで朝食をジョンジュンと一緒に食べる始末……？

これではジョンジュンが「やってられないよ！」となりそうなものだが、そこがジョンジュンのいいところ……。文句を言ったり、ケンカしたりしながらも、ドンミとジョンジュンの仲はずっとうまく続いていた。しかし、ある時、あることからこの2人が大ゲンカ……。さて、この2人はこの先一体どうなるの……？

## これはまるでテレビドラマの世界！

このようなナン、ドンミ、ジョンジュン3人の仕事と恋愛を軸としたストーリー展開を観ていると、ああなるほど、これはテレビドラマの世界だと感じるし、なるほどこれが『29歳のクリスマス』の物語なのかと理解できる。それは別の言い方をすれば、このドラマは等身大のナン、ドンミ、ジョンジュンたちの生活を同世代の視線で描いたもので、とりたてて1本の映画にすべきテーマがあるわけ

ではないということ……？ そうやってしまうと身も蓋もないし、この映画をバカにしているように聞こえるかもしれないが、決してそれはこの映画の出来が悪いという意味ではないから、悪しからず……。

## ひょうたんからコマの衝撃の事実

そんなありふれたテレビドラマ風の展開に「ひょうたんからコマ」ともいうべき大きな衝撃が走った。それは……？ ナンの仲介工作(?)にもかかわらず、ケンカ状態が続いていたドンミとジョンジュンの2人。そして、今月中には部屋から出ていくと宣言していたジョンジュンだったが……？ 男と女の関係はわからないもの。そしてモノには、はずみというものがあるもの……？ 何とこんな2人はある晩……？

## 第2の衝撃はナンとドンミだけのヒ・ミ・ツに……？

片や、セクハラ上司にタンカを切って会社を辞め、起業家を目指していたドンミは、彼女なりの努力と才覚でやっと新会社を立ちあげた……。ところが世の中それほど甘くはない……。このドンミの計画は見事に大失敗……。他方、男と女が「ひょうたんからコマ」式に結びつくと、何パーセントかの確率で発生する事態は……？ そんなダブルパンチ(?)を受けたドンミだったが、やっぱり男と違って女は強い！ とりわけこのドンミの強さは並大抵のものではない。こんなドンミに対して、それまでは「絶対に〇〇すべき」と強くアドバイスしていたナンも、180度方針転換。ジョンジュンには何もうちあけないまま、ドンミが1人で決心した選択は、ナンとドンミだけのヒ・ミ・ツに……。そしてドンミのこの決断を認めたナンは、その中で新たな自分の役割も確認……？

## ナンも新たな選択を！

ドンミの選択に呼応するかのように、ナンも結婚指輪を贈られたスホンとの結婚を先延ばしにして、新たな自分の人生の選択を……。さて、それは……？ このようにナンは30歳になった今を懸命に生きているが、10年後果たして彼女はどんな幸せをつかんでいるのだろうか……？ 2005(平成17)年7月19日記